

あいさつ

私はここ数年、藤沢周平作品だけを読んでいたように思います。

46才の時に「暗殺の年輪」で直木賞を取り、69才で没するまで長編はおよそ40編、短篇は200篇以上、今では読むことのできない古い雑誌に掲載されたものを含めれば、300篇近くまであるようです。

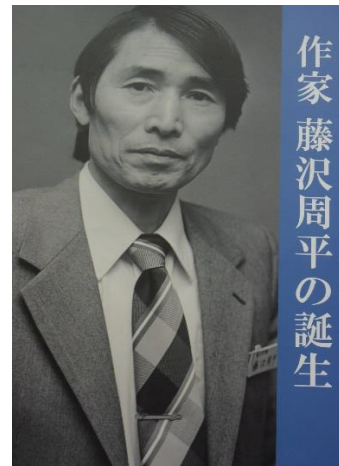
写真の風貌から感じられる人柄そのままに、すべての作品で、弱い人にも悪い人にさえも優しい心で寄り添い、文体は精緻な水墨画を見るように風景が浮かぶ、清廉な描写と多弁ではないが寡黙でもない、正確な筆の運びが読む人の心を引き付ける。

全編を読みたくて、およそ全編126冊の目録を作ってみました。

興味のある方は、藤沢周平作品を読む時の参考にしてみてください。

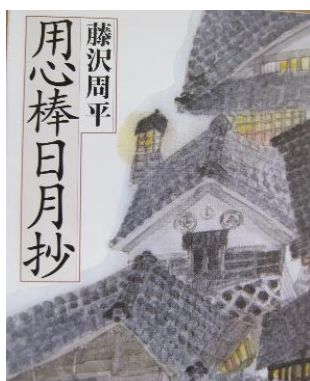
所沢市高齢者大学35期生 T.S.

所沢市・飛翔の会会員 T.S.



目次

1	出版された本の題名及び内容	P-1
2	発表年別の作品名	P-12
3	出版年別の長編作品集名	P-14
4	出版年別の短篇作品集名	P-15
5	蔵書名及び図書館で借りて読んだ本名	P-17
6	藤沢周平全集に収められている作品名	P-22
7	読んだ短篇作品名	P-23
8	作品の表紙及びあらすじ・作者のことば	P-29



1976年

藤沢周平読者アンケート・ベスト2

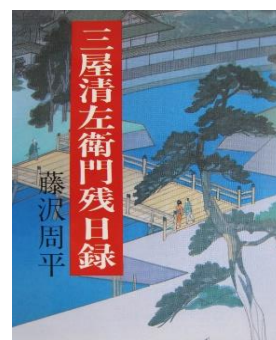


藤沢周平読者アンケート・ベスト1

1986年

藤沢周平の「作品の世界」に 近づくために

1989年



藤沢周平読者アンケート・ベスト3

2019年(令和元年) 夏